



連載・特集



イベント



紙面・おくみ



総合ガイド



マイページ

トップ

地域

社会

経済

政治

スポーツ

くらし文化

オピニオン

全国・海外

記事を検索



北海道を、デジタルで、Deepに。編集者が選ぶイチ押し記事

「過疎地」札幌に20年ぶりシネコン 映画ファンどう動く<舟崎デジタル委員が読み解く>

会員限定記事

2023年12月12日 10:00(12月12日 11:41更新)



札幌で20年ぶりの開業となるシネコン「TOHOシネマズすすきの」が、11月末に複合商業施設「ココノススキノ」(札幌市中央区南4西4)にオープンしました。これで札幌の大型シネコンは計3カ所に。いずれも中心部に集中し、競争が激しくなりそうです。昭和の時代にはちょっとしたマチなら、どこにもあったといえる北海道の映画館。過去、そして現在地を探ります。(経済部デジタル委員 舟崎雅人)



ココノススキノ内に開業した「TOHOシネマズすすきの」のロビー

北海道一の繁華街ススキノ。その玄関口に位置するココノススキノの5階に足を踏み入れると、「TOHO CINEMAS」のサインが目飛び込んできました。すすきの交差点側をガラス張りにしたロビーに明かりが差し込み、開放感を感じさせます。

全10スクリーンで計1732席。迫力ある音に特化したり、ゆったりした座席と大規模画面で高級感を演出したりするスクリーンもあります。特に北海道に初めて導入された「ドルビーシネマ」は、動きが分かりにくい暗いシーンでも明暗の鮮明なコントラストを映し出すことができます。実際に鑑賞した札幌の映画関係者も「明らかに映像の質が違う」と驚きを隠せませんでした。

わたしのニュース

一覧へ >

<札幌圏>挑戦する姿伝えたい 長峯亮

2023年12月13日 09:58



<情報らんど>ホテルグルメ(12月13日)

2023年12月13日 05:00



PR

食物アレルギーケア事業やサステナブルな生き方をテーマに特別対

最短1時間で企業からスカウトが届く!地域に特化した求人マッチ

頑張ったあなたへの「ご褒美女子旅」。北海道内のおすすめの宿や

道新・UHB・Air-G' SDCs共同プロジェ

アクセスランキング >

12月13日 01:09 更新

1 JR無人5駅来春廃止 除雪・保守負担を軽減

2 AIRDO全路線、片道5千円 15日から販売

3 「過疎地」札幌に20年ぶりシネコン 映画ファンどう動く<舟崎デジタル委員が読み解く>

4 函館イワシ漂着「処理水原因」 SNSで英文記事拡散 道「誤情報」

5 道東アークス、本社移転 北見に新社屋 デリカセンター拡充



館内に設置したのは全10スクリーン

菅井裕也支配人（38）は「商圏は半径5キロから10キロ。地下鉄駅に直結しているの
で、特に沿線の映画ファンは来やすいのではないのでしょうか」と話します。

5キロといわず、ススキノを中心に半径1・5キロの円を描くだけで、1998年オープ
ンのユナイテッド・シネマ札幌（中央区北1東4、11スクリーン、2364席）と、20
03年開業で北海道最大の12スクリーン、2705人を収容する札幌シネマフロンティア
（同区北5西2）の二つのシネコンがすっぽり収まります。

上映作品の一部はそれぞれのシネコンで独自色を出すにしても、多くの観客を動員するヒ
ット作は、どのシネコンでも上映されるのが一般的です。映画ファンを奪い合うことにな
るのでしょうか。

札幌市内の映画館



※この他、成人映画のマッシュピアターがある

そもそも札幌シネマフロンティアは東宝、松竹、東映の大手3社が共同経営し、2012
年からは東宝のTOHOシネマズに運営が委託されています。今回オープンした「TOHO
シネマズすすきの」とは、事実上の自社競合の構図になるとの見方もあります。

近距離で大型シネコンが三つもあれば、集客も激しくなりそうですねー

菅井さんにそう質問すると、「そうかもしれませんが、何よりも札幌の映画ファンを増や
したいですね。シネコン三つで、協力できることがあればやっていきたい。元々、札幌は人
口に対して映画館が少ないんですよ」と答えてくれました。

■「札幌は映画館が少ない」は本当？

札幌の映画館の少なさー。関係者を取材すると、この話をよく耳にしました。シネコン全
盛の時代、重視されるのは映画館の数というよりも、スクリーン数です。そこで統計を調べ
てみると、少しびっくりするような事実気付きました。



お知らせ >

日本将棋連盟常務理事 森下卓九段が講演*道政経懇話
会19日に例会

飛鳥IIで航(ゆ)く さわやか太平洋クルーズ*いわき
小名浜と三陸大船渡4日間

第61回有島青少年文芸賞

新築一戸建て購入情報はコチラ

suumo.jp

アイルホーム(株)SUUMOに新着情報掲載中

広告

全国の政令指定都市で、札幌を含む人口上位15市のスクリーン数と、人口10万人あたりのスクリーン数を調べてみました。まず、2022年末時点の札幌の映画スクリーン数(31)は、人口が40万人弱少ない福岡市(58)と、約50万人少ない京都市(61)の約半分にすぎません。

政令指定都市(人口上位15位まで)の映画スクリーン数

都市	人口	スクリーン数	人口10万人あたりのスクリーン数	(順位)
①横浜市	377万人	88	2.33	(13)
②大阪市	275万人	84	3.05	(8)
③名古屋市	233万人	80	3.43	(6)
④札幌市	197万人	31	1.57	(15)
⑤福岡市	161万人	58	3.60	(5)
⑥川崎市	153万人	41	2.67	(11)
⑦神戸市	152万人	42	2.76	(10)
⑧京都市	146万人	61	4.17	(2)
⑨さいたま市	132万人	40	3.03	(9)
⑩広島市	120万人	39	3.25	(7)
⑪仙台市	109万人	25	2.29	(14)
⑫千葉市	97万人	43	4.43	(1)
⑬北九州市	93万人	38	4.08	(3)
⑭堺市	82万人	31	3.78	(4)
⑮浜松市	79万人	20	2.53	(12)

※政令都市の人口は、2020年国勢調査の確定値。スクリーン数は、2022年12月末に営業していた映画館が対象で、出典は「映画年鑑2023年版」。10万人当たりのスクリーン数は、小数点第3位以下を切り捨て

さらに、札幌の人口10万人あたりのスクリーン数は1・57で、トップとなった千葉市の4・43や、2位京都市の4・17、3位北九州市の4・08に遠く及ばず、15都市で最下位でした。

今回の「TOHOシネマズすすきの」の開業分を入れても10万人あたりでは2・03。下から2番目となる14位の仙台市(2・29)にも大きく離されています。

北海道外で映画を見る機会がなければなかなか気付きませんが、札幌は全国の大都市で有数の映画スクリーン「過疎地」といっても過言ではないのかもしれませんが。

■映画鑑賞回数も全国平均下回る

そして、映画鑑賞回数も全国平均を大きく下回っています。「映画上映活動年鑑2022」によると、1人当たりの年間鑑賞回数は全国平均1・2回に対し、北海道は0・8回。東京の1・9回や京都の1・5回、福岡の1・4回に水をあけられています。

スクリーン数と映画鑑賞回数の少なさ。札幌シネマフロンティアができたことで共同運営する3社が2000年代に自社の劇場を整理したことや、映画館まで遠い地方の地理的な問題、さらには全国的な興行シェアに占める北海道の割合が減ったことによる宣伝費の削減など、業界では複合的な要因が指摘されているようです。



「TOHOシネマズすすきの」が入るココノスキノ

札幌に20年ぶりに誕生した大型シネコンはどんな影響を与えるのでしょうか。

「相乗効果といっても、来場者が2倍になるわけではない。やはり競合は避けられない」と警戒感を示す関係者がいる一方、別の関係者は「映画館に注目が集まれば、札幌の映画ファンの底上げにつながる。ふたを開けてみなければプラス、マイナスの影響は何とも言えない」と話します。

国内の他の大都市に比べ極端に少ない映画スクリーン。このため、札幌の映画ファンの潜在的需要は、まだまだあると考える関係者も少なくありません。

■映画ファンの動きはどう変わる

JR札幌駅に直結している札幌シネマフロンティア、サッポロファクトリーのユナイテッド・シネマ札幌。これまで大通公園の北と北東に向いていた映画ファンの大きな流れは、大通公園の南方にある「TOHOシネマズすすきの」の開業によって、どう変わるのでしょうか。

スガイディノス（札幌）の映画事業を引き継ぎ、狸小路で「サツゲキ」を運営するディノスシネマの今野亮一北海道本部総支配人（44）は「映画ファンの動きが大通公園の南側に向かえば、われわれにとってもプラス」と話します。



狸小路5丁目にあるサツゲキ

アート系からB級アクションまでサツゲキの独特の上映作品は、シネコンとは一線を画します。さらに、スクリーンに向かって観客が声援を送ったり、ペンライトを振ったりする「応援上映」を旧札幌劇場時代にいち早く取り入れ、多くの熱狂的ファンがいます。

今野さんはサツゲキが「TOHOシネマズすすきの」から徒歩数分の場所に位置することから、「映画ファンにとって『はしご』鑑賞がしやすくなるのではないのでしょうか」と相乗効果に期待します。

■稚内に異例の規模の映画館

一方、札幌から遠く離れた地方都市では「競合」や「相乗効果」などとは、縁遠い映画館の事情があります。

JR札幌駅から1日1便しかない特急の直行列車に揺られて5時間超。宗谷線の終点となるJR稚内駅と一体となった駅前再開発ビルに、日本最北の映画館がありました。

2010年、22年ぶりに稚内に復活した映画館の「T・ジョイ稚内」です。



T・ジョイ稚内は、JR稚内駅前再開発ビルにある

「かつて稚内の子もたちが映画を見るためには、旭川や札幌に行く必要があった。映画を見に行くというよりも、もはや旅行で、いくらなんでもかわいそうだと思っていた」。

運営する最北シネマ（稚内）の藤田幸洋会長（68）は、開館した当時をこう振り返ります。3D（立体）映像に対応したタイプも含めてスクリーンは計三つで、250人を収容。

人口3万1千人（10月末現在）のマチにある映画館としては異例の規模で、藤田さんは「稚内に転動してきた人たちから『こんなに大きな映画館があるんだ』と、よく驚かれる」と胸を張ります。

開業から13年が過ぎた2023年8月には、累計来場者が50万人を突破しました。しかし、年間平均では4万人弱。開業当初の目標は年間10万人でした。稚内や宗谷管内の人口減少が加速するなど、周辺人口の少なさが壁になっています。



T・ジョイ稚内を運営する最北シネマの藤田会長

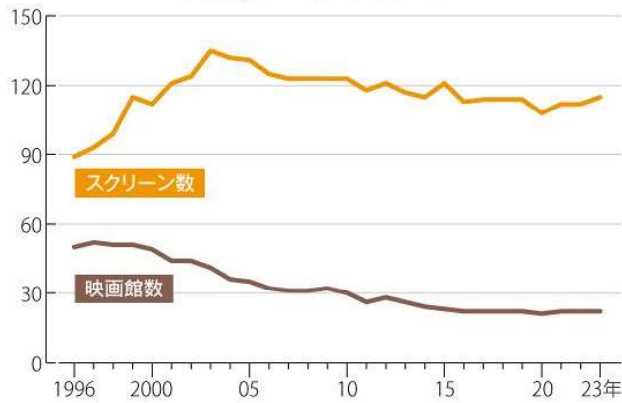
名寄市にあった映画館が2014年に閉館し、道北では旭川から稚内までの約200キロ区間に映画館がありません。それだけに映画文化の要となるスクリーンは貴重です。

稚内市は5年前から市内の小中学生約2千人を対象に、年1回好きな映画を見ることができ、鑑賞券を配り、昨年度は約7割の子もたちが利用しました。

地元の建設会社・藤建設の会長で、稚内建設業協会のトップも長らく務めた藤田さんは「思い通りにいかなかったのは観客動員。ただ『稚内の子もたちに映画館を』という目的は達成できているし、まだまだ頑張りますよ」と話します。

北海道内の映画館とスクリーン数の推移

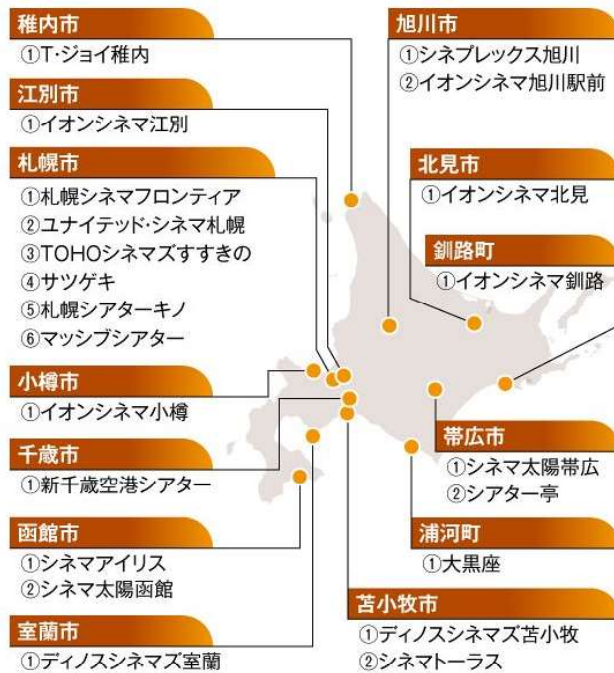
※北海道興行生活衛生同業組合調べ



北海道内の映画館でつくる北海道興行生活衛生同業組合（札幌）の調べによると、1996年に道内にあった映画館は50で、スクリーン数は89。一つのスクリーンしか持たない映画館が主流でした。

2000年前後に札幌や江別、北見、釧路などに続々とシネコンが進出したあおりを受けると、既存の映画館が相次ぎ閉館。映画館自体が大きく減る一方で、スクリーン数は一時的な増加から微減という状態が続き、2010年代に入ると、こうした淘汰（とうた）の大きな波がほぼ落ち着いたとみられています。

北海道内の常設映画館



北海道の映画館に大きな地殻変動を起こしたシネコンの隆盛に対し、独自の上映作品で映画ファンの心をつかむミニシアターも地方都市で映画文化の灯を守っています。

その一つ、苫小牧の「シネマトーラス」は今年で25周年を迎えました。

■映写機の導入を常連客が支援

上映スケジュールをマジックで手書きした紙を横目に扉を開け、ロビーを抜けると、閉館時から変わらない真っ赤な座席が40席。ここで、これまで計3千本近い映画を上映してきました。



25周年を迎えた苫小牧のシネマトーラス

代表の堀岡勇さん（71）は、苫小牧で自主上映サークルを設立して上映会などを開き、「日常的に映画を見られる場所をつくりたい」とミニシアター設立を決意。「仲間の大半は無理だと反対した」（堀岡さん）が、協賛金約600万円を集めて1998年に開館しました。

現在は、1日6作品あるいは7作品を上映。基本的に1作品の上映期間は2週間で、観客は「計100人入れば良いほうです」（堀岡さん）。

とはいえ苫小牧市内だけでなく室蘭や千歳、日高管内などから熱心なファンが訪れます。ロビーの壁には、今後の上映候補として、20作品ほどのパンフレットが張られています。お客さんが見たい映画にシールを付け、堀岡さんがそれを見ながら今後の上映作品を決めることもあり、ファンとの距離の近さがうかがえます。



シネマトーラス代表の堀岡さん。「支えてくれたお客さんの思いに応えたい」

10年ほど前には、デジタル映写機の導入に約700万円必要でしたが、常連客の寄付などで無借金で工面。堀岡さんは「映画を通じて信頼し合える関係になったお客さんが支えてくれました。さまざまな作品を身近に見られることが一番大切なことだと思ってやってきました」と話し、30周年を目指しています。

■非日常空間を楽しめるのが映画

北海道興行生活衛生同業組合の柏浦亜紀恵理事長（47）は「非日常の空間を楽しんでもらうのが映画。地元気軽にいける映画館はいつまでもあってほしい」と強調します。

さまざまな動画配信サービスが広がり、パソコンやスマホでも映画は楽しめる時代になりました。

ですが、映画館の大きなスクリーンで、その世界にどっぷり浸った作品は、どこで、誰と見たかとともに長らく記憶の奥底に残るものです。映画館で映画を見ることが非日常の「体

験」だとすれば、札幌だろうと、地方都市であろうと、映画館がその体験をできる貴重な場であるのは、これまでも、そしてこれからも変わらないはず。



あわせて読みたい

札幌で20年ぶりシネコン「ススキノ」に TOHOシネマズ 11月30日開業

2023年11月28日 10:39



北海道を、デジタルで、Deepに。
今読んで欲しい記事を北海道新聞の編集者がセレクトしました。
さらに深く「北海道の今」が知りたいあなたへ

関連タグ

- #読み解く
- #Dビジネス
- #Dセレクト
- #映画 | 音楽
- #札幌市
- #札幌
- #最新の連載・特集
- #注目の深掘り記事
- #経済
- #北海道新着
- #主要ニュース

関連記事

北海道産カキが「一番」納得のワケを厚岸、サロマで探ってみた<栢原委員が読み解く>

2023年12月05日 10:00



北海道で急増！想像以上の「進撃の再エネ」、「泊」の位置づけは…<宇野沢編集委員が読み解く>

2023年11月28日 10:00



JR北海道 どうなる赤字139億円の8区間 見直し公表から7年<長谷川記者が読み解く>

2023年11月21日 10:00



伝説のハドソンからセガへ「ゲームのまち札幌」は再び歴史をつくれるか<舟崎デジタル委員が読み解く>

2023年11月14日 10:00



北海道のニュースがメールで届く！
ニュースレターに無料登録

日産の福祉車両が当たる

日産自動車株式会社 | PR



10年が目安！実は簡単に交換できるIHクッキングヒーター

パナソニック on All About | PR

続きを読む

数クリックでPCのパフォーマンスを向上

PC HelpSoft | PR

ダウンロード

東大医学部医師「60kg超はりんご食べて」体重減らすりんごすご

ボムジン | PR

トップニュース



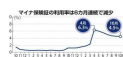
帯広出身の谷保恵美さんが引退 ロッテ支えた名調子 生まれた陰にあの選手<デジタル発>

プロ野球千葉ロッテマリーンズを長年支えた名調子が来季はもう、聞けない。ロッテの本拠地ZOZOマリンスタ...

2023年12月13日 10:00

マイナンバー不安払拭道半ば 保険証利用率4・5%、低迷続く

2023年12月12日 23:15



秋生田自民政調会長、辞意固める 安倍派の政治資金パー券問題

2023年12月13日 11:00

